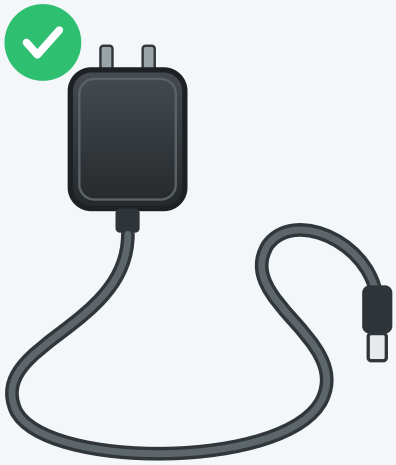


BR1 本体



DCアダプター

110cm

INSTALLATION GUIDE

電気錠・自動ドアに BR1 をつなぐ

施設の制御盤（無電圧 A 接点）に BR1 を配線し、QR1 と
Bluetooth でつなぐまでの手順です。電気錠・自動ドア共通。

MODELS
BCL-BR1 / BCL-QR1 LE

DOCUMENT NO.
KV-H04

REVISED
2026年11月6日

WEB MANUAL

ABOUT THIS GUIDE

このマニュアルについて

施設の制御盤（無電圧 A 接点）に BR1 を配線し、QR1 と Bluetooth でつなぐまでの手順です。電気錠・自動ドア共通。

取り付け　BR1 電気錠モジュール　QR1 LE

目安時間
約30分

用意するもの
- AE(0.9)2C の電線 2本
- 設置に必要な工具

始める前に
- QR1 の取り付けが終わっていること（QR1 LE の取り付け）
- 制御盤の位置と、A 接点の端子を施設側に確認していること

目次

— ご使用上の注意 3
01 同梱物を確かめる 4
02 接続の全体像 4
03 制御盤と配線する 5
04 BR1 を設置して給電する 6
05 QR1 に給電する 7
06 設置後の確認 8
付録 製品仕様 10
付録 よくある質問 11

記号の見方

注意 必ず守ること
守らないと、故障・やり直し・思わぬ動作につながることがあります。

補足 知っておくと役立つこと
作業のコツや、状況によって変わる点を説明します。

図の青い部分
作業する人が行う動きと、注目する場所を青で示します。

手順は改良に合わせて更新しています。最新版は表紙の QR コード、または keyvox.co/manuals/br1-install からご覧いただけます。

SAFETY & HANDLING

ご使用上の注意

安全に、長くお使いいただくための注意事項です。取り付けの前に必ずお読みください。

警告
守らないと、火災・感電・けがにつながるおそれがあります。

注意
守らないと、故障や、解錠できなくなる原因になります。

お願い
長く安心してお使いいただくために。

警告 安全のために必ず守ること

- 本体・AC アダプターを分解・改造・修理しないでください。
- 付属の AC アダプターと専用ケーブル以外は使わないでください。指定の電圧以外で使うと、発熱・故障の原因になります。
- 濡れた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。ケーブルを傷つける・無理に曲げる・重いものを載せることも避けてください。
- 煙が出る・異臭がする・異常に熱いときは、すぐに電源（AC アダプター・電池）を外し、サポートへご連絡ください。
- 電気錠・自動ドアの制御盤への配線は、電源を切った状態で、電気工事の知識のある方が行ってください。

注意 非常時の備え

- 電池切れ・停電・通信の不調・故障に備えて、物理鍵などの非常用の解錠手段を必ずご用意ください。物理鍵は室内に置いたままにせず、すぐ取り出せる場所で保管してください。
- 電気錠・自動ドアでは、解錠できなかった場合の解錠方法（非常用の解錠ボタンなど）を、メーカーまたは施工店と相談のうえご用意ください。
- 管理者暗証番号は第三者に知られないように管理し、初期の番号のまま使わないでください。

注意 設置する場所

- 仕様に記載の温度・湿度の範囲で、直射日光が当たらず、結露・氷結しない場所に設置してください。
- BR1・WD1 には防水性能がありません。屋内に設置するか、屋外では防水ボックスに収めてください。
- QR1 LE・BX1 は防水（保護等級5）ですが、水没や高圧洗浄には耐えません。BX1 の防水は扉を閉じた状態に限ります。
- Bluetooth・Wi-Fi は、金属の扉・コンクリートの壁・分電盤などで弱くなります。機器どうしは見通し 2m 以内を目安に設置してください。
- 電子レンジや他の無線機器の近くでは、通信が不安定になることがあります。

注意 電池について

- 新しい単三形アルカリ乾電池を使い、＋と－の向きを確かめて入れてください。
- 新旧の電池、種類やメーカーの違う電池を混ぜて使わないでください。交換するときは全部を同時に替えてください。
- 電池残量の通知が届いたら、早めに交換してください。長期間使わないときは電池を取り出してください。
- 液漏れした電池には素手で触れず、拭き取ってから新しい電池に交換してください。

お願い 日常のお手入れ

- 汚れは、乾いたやわらかい布か、水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭いてください。
- シンナー・ベンジン・アルコールなどの溶剤や、研磨剤は使わないでください。表面や文字が傷みます。
- QR コードの読み取り窓とキーパッドは、汚れや水滴が付いたままにしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

お願い ご利用にあたって

- ファームウェアとアプリは最新の状態でお使いください。動作の安定化や不具合の修正が含まれます。
- 機器を譲渡・廃棄するときは、アカウントから機器を削除し、初期化してください。
- 廃棄するときは、電池を取り外し、お住まいの自治体の区分に従ってください。
- 保証の期間と条件は、製品に同梱の保証書をご確認ください。

1 STEP 01 同梱物を確かめる

1.1 BR1 本体と DC アダプターがそろっているか確認する

1. BR1 本体（BLE モジュール）があることを確認します。
2. DC アダプター（コード 110cm）があることを確認します。

> **補足** BR1 から QR1 への給電には、QR1 に付属の 3m の USB ケーブルを使います（BR1 には付属しません）。届かない場合は 6m 延長ケーブル（別売）を使えます。



2 STEP 02 接続の全体像

BR1 は天井裏や点検口の中にある制御盤の近くに置き、AE 線で制御盤とつなぎます。QR1 とは Bluetooth で通信します。

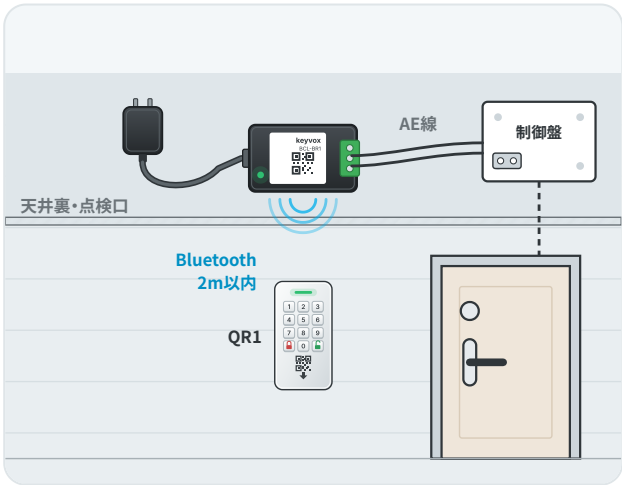
設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN **電気錠**

2.A1 制御盤・BR1・QR1 の位置を確認する

1. 天井裏・点検口の中にある制御盤の位置を確認します。
2. BR1 を置く場所を決めます。QR1 から 2m 以内にします。
3. BR1 の電源を取るコンセントの位置を確認します。

> **注意** BR1 と QR1 の間に鉄やコンクリートがあると、Bluetooth の通信が妨げられることがあります。

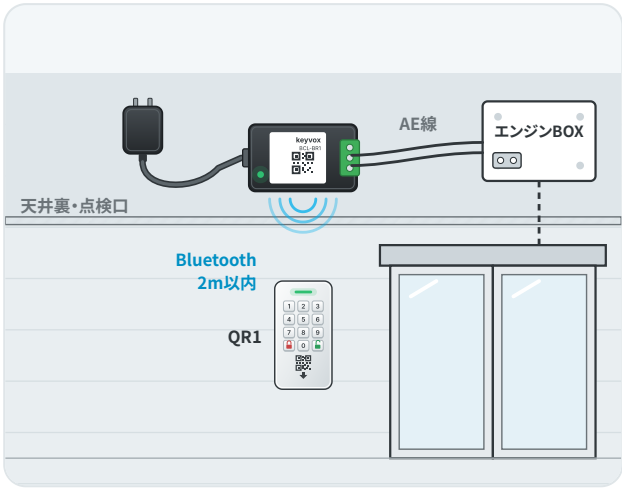


B PATTERN **自動ドア**

2.B1 制御盤（エンジンボックス）・BR1・QR1 の位置を確認する

1. 室内の天井近く・点検口の中にあるエンジンボックスの位置を確認します。
2. BR1 を置く場所を決めます。QR1 から 2m 以内にします。
3. BR1 の電源を取るコンセントの位置を確認します。

> ⚠ **注意** BR1 と QR1 の間に鉄やコンクリートがあると、Bluetooth の通信が妨げられることがあります。

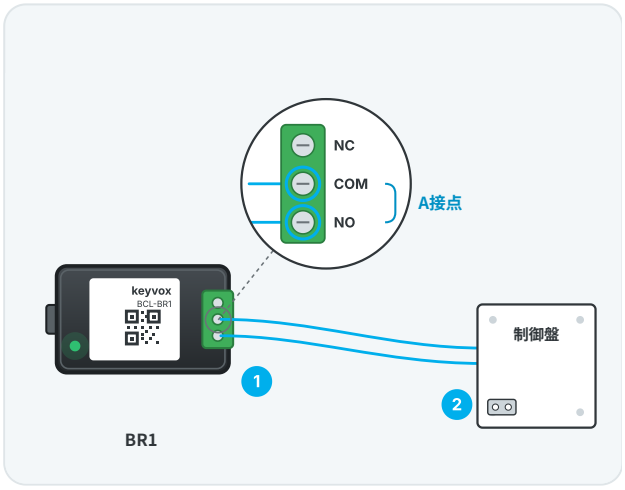


STEP 03 3 制御盤と配線する

3.1 AE 線で BR1 の A 接点と制御盤をつなぐ

1. AE(0.9)2C の電線を 2本用意します。
2. BR1 の緑の端子台の COM と NO（A 接点）に AE 線をつなぎます。
3. 制御盤の無電圧 A 接点に、もう一方の端をつなぎます。

> ⚠ **注意** 端子台は上から NC・COM・NO です。NC（B 接点）にはつなぎません。

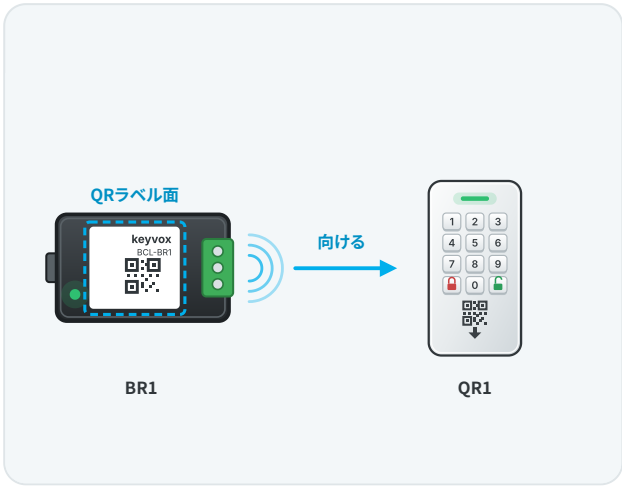


STEP 04

4 BR1 を設置して給電する

4.1 QR コードのラベル面を QR1 に向ける

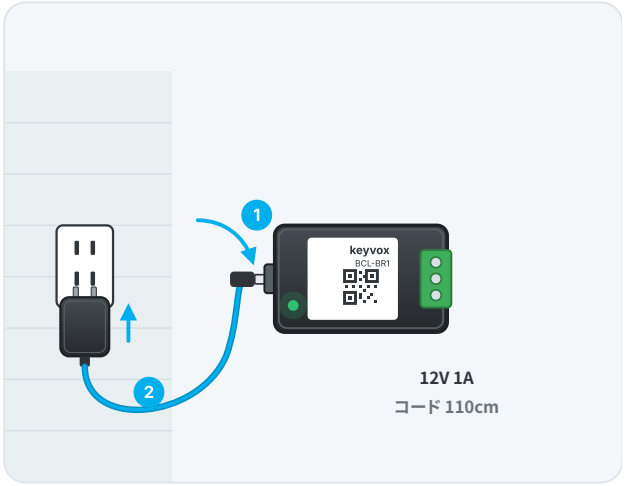
BR1 の電波は QR コードのラベルが貼られた面から出ます。安定して通信できるよう、ラベル面を QR1 の方向に向けて置きます。



4.2 付属の AC アダプターで給電する

1. AC アダプターのプラグを BR1 の電源ジャックに差します。
2. AC アダプターをコンセントに差します。

> ⚠ **注意** BR1 の電源は 12V 1A です。必ず付属の AC アダプターを使ってください。



STEP 05

5 QR1 に給電する

QR1 の電源は BR1 から取るか、コンセントから取るかを選べます。詳しくは**QR1 LE の取り付け**を参照してください。

設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN BR1 経由

5.A1 USB ケーブルで BR1 と QR1 をつなぐ

QR1 に付属の USB ケーブル（3m、Type-A to C）で BR1 と QR1 をつなぐと、BR1 から QR1 に給電されます。

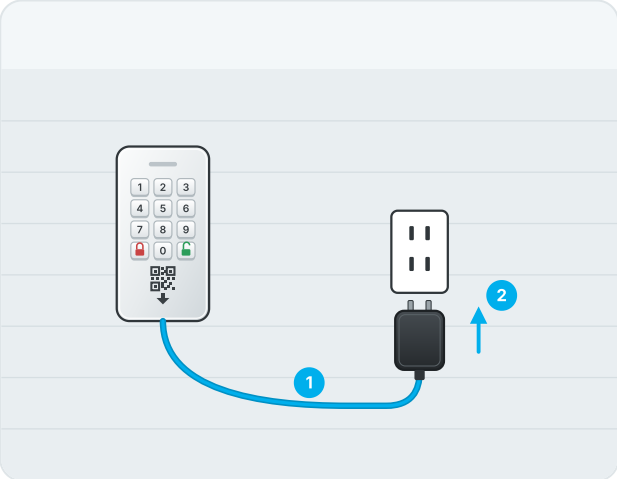
> **補足** USB ケーブルは給電だけに使います。BR1 と QR1 の通信は Bluetooth で行います。



B PATTERN コンセントから

5.B1 付属の AC/DC アダプターでコンセントにつなぐ

1. QR1 の USB ケーブルを AC/DC アダプターにつなぎます。
2. AC/DC アダプターをコンセントに差します。



STEP 06

6 設置後の確認

6.1 BR1 の LED が緑に点灯していること

緑の点灯は QR1 とペアリングされている状態です。緑の点滅は、ペアリングされていないか接続が切れています。

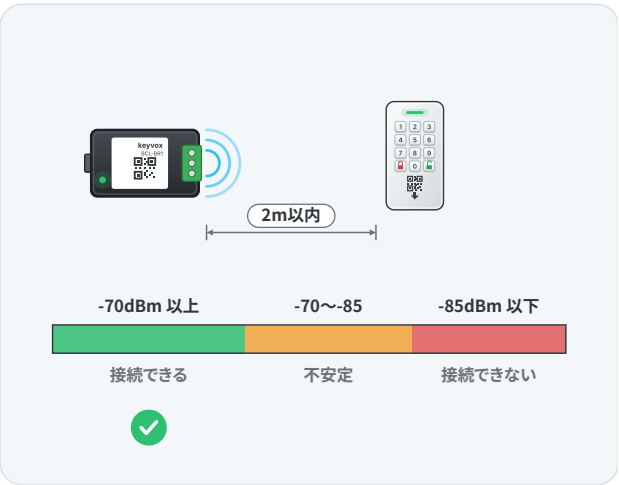
> **補足** 工場出荷のまま届いた場合（プラン B）は、ペアリングが終わるまで LED は緑の点滅のままです。QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐでペアリングしてから確かめます。



6.2 信号強度が -70dBm 以上あること

Bluetooth・Wi-Fi とも、信号強度は -70dBm 以上を推奨します。-70〜-85dBm は接続が不安定、-85dBm を下回ると接続できません。

> **補足** 信号強度が足りない場合は、BR1 や QR1 の設置場所を見直してください。



6.3 設置環境が仕様の範囲内であること

1. BR1 に防水性能はありません。雨や水がかかる場所に置いていないことを確認します。
2. 周囲の温度が -30〜50°C、湿度が 20〜90%（結露・氷結なし）であることを確認します。
3. 直射日光が当たらないことを確認します。

> **補足** BR1 の仕様: W54 × L81.9 × D34mm、75g。電源 12V 1A（電源ジャック入力）。USB-A 端子から QR1 へ 5V 1A を給電可能。A 接点（NO）・B 接点（NC）・COM 端子 各1。

次にやること

KEYVOX Basic を準備する ..... keyvox.co/manuals/app-basic-setup

APPENDIX — SPECIFICATIONS

製品仕様

・極端な高温多湿の場所や海岸沿いなど、特殊な環境でのご利用を想定される場合は、あらかじめ当社にご相談ください。
・接点信号の出力時間は初期設定で 2 秒、2〜20 秒の間で変更できます。電気錠・自動ドアのメーカーまたは施工店と相談のうえ、万が一解錠できなかった場合の解錠方法（非常用の解錠ボタンなど）をあらかじめご用意ください。
・仕様は改良のため予告なく変わることがあります。

BCL-QR1 LE

KEYVOX QRリーダー・キーパッド

寸法	W73.9 × L134.5 × D57.1 mm
製品重量	325g
材質	ボディ：プラスチック／ブラケット：鉄
耐熱・耐湿度性能	-20°C〜50°C（直射日光を受けないこと）／湿度 20%〜90%（結露・氷結のないこと）
防水性能	JIS C0920 保護等級5
電気定格	5V 1A（100V 用の AC/DC アダプター付属）／単三電池4本（別売り）
電源コード	USB Type-A to C ケーブル 3m 付属
付属品	AC/DC アダプター、USB Type-C ケーブル（3m）、ブラケット、保証書、QRリーダー場所表示用シール、ブラケット固定用木ネジ（コンセントボックス・はさみ金具用のネジは同梱されません）

BCL-BR1

KEYVOX BLEモジュール

寸法	W54 × L81.9 × D34 mm
製品重量	75g
材質	プラスチック（黒）
耐熱・耐湿度性能	-20°C〜50°C（直射日光を受けないこと）／湿度 20%〜90%（結露・氷結のないこと）
防水性能	なし
電気定格	電源：12V 1A（電源ジャック入力）／USB-A 端子 ×1：QR1 へ 5V 1A の給電が可能／A接点（NO）端子・B接点（NC）端子・COM 端子：各1個（リレーの定格：220V / 1000W）
電源コード	専用の電源コード付きアダプター（コードの長さ 110cm）
付属品	AC/DC アダプター、保証書

APPENDIX — FAQ

よくある質問

このガイドの内容に関わるご質問です。すべての質問は Web 版（keyvox.co/manuals/faq）に掲載しています。

解錠できないとき

Q QR1 と BR1 の Bluetooth 接続が切れます。

接続が切れると、暗証番号・QR コード・遠隔解錠のすべてが使えなくなります（物理鍵や施設側の解錠手段だけが使えます）。BR1 の LED が緑の点滅なら切断、緑の点灯なら正常、消灯なら電源が入っていません。主な原因は電波が届いていないことです。一時的な切断は自動でつながり直すので、くり返す場合は設置環境を見直してください。

- 数分待ちます。30 分待っても戻らないときは次へ進みます。
- BR1 の AC アダプターと、QR1 の給電・電池残量を確かめます。
- BR1 の AC アダプターを抜き、30 秒待って挿し直します。
- 距離を近づけます（見通し 2m 以内が目安）。扉・壁・金属の分電盤が間に入らない位置に置きます。
- BR1 は QR コードが印字されている面を QR1 に向けて設置します。
- 直らないときは再ペアリングします（設定した BR1 の管理者暗証番号が必要です）。
- ファームウェアを最新にします。信号強度は -70dBm 以上が目安です。

参照：QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐ

SUPPORT

手順でわからないことは、
サポートまでご連絡ください。

取り付け後の確認のご依頼や、機器の動作でお困りのときも、サポートポータルからお問い合わせいただけます。

サポートポータル

お問い合わせ・取り付け確認のご依頼

support.keyvox.co

Web 版マニュアル

最新の手順・PDF のダウンロード

keyvox.co/manuals

・本書の内容は改訂日時点のものです。製品の改良により、仕様・画面・手順は予告なく変わることがあります。
・本書の図はイラストです。実際の製品と細部が異なる場合があります。
・記載の会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

keyvox
ブロックチェーンロック株式会社

KV-H04　REV. 2026.11.06
© 2026 ブロックチェーンロック株式会社